

プレスリリース

2021年12月16日

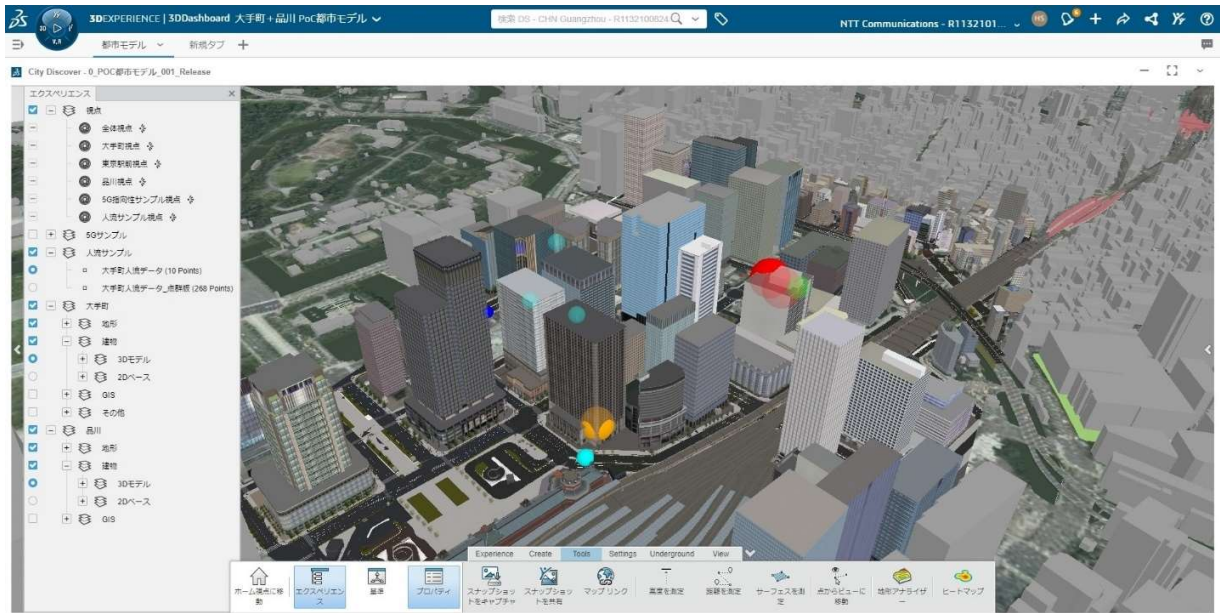
報道関係各位

ダッソー・システムズと NTT コミュニケーションズが サステナブルなスマートシティで協業を発表

- エネルギー消費やモビリティ最適化など、サステナビリティやレジリエンスといった都市を巡る課題に複数の領域から対処できるスケーラブルな都市プラットフォームを目指す
- コラボレーション、バーチャルツイン・テクノロジー、ビッグデータの融合により、ビルディング、エリア、自治体といった様々なレベルのプロジェクトに対応
- ダッソー・システムズの戦略的注力領域の一つ、都市・インフラ領域*¹における日本での初の協業：3DEXPERIENCE プラットフォームと NTT コミュニケーションズの SDPF を組み合わせる

※本リリースは、東京および仏ヴェリジー＝ヴィラクブレーにて 2021 年 12 月 16 日に発表したリリースの日本語版です

[ダッソー・システムズ](#) (Euronext Paris: FR0014003TT8, DSY.PA) と NTT コミュニケーションズ株式会社 (代表取締役社長：丸岡 亨、以下 NTT Com) は、日本でのサステナブルなスマートシティの実現を目指す協業への覚書を締結したと発表しました。両社はバーチャルツイン・テクノロジーとビッグデータを活用し、サステナビリティやレジリエンスに関わる複数の領域（ドメイン）の課題を解決します。具体的には都市におけるエネルギーの課題、モビリティの EV シフトなどのソリューションを探るとともに、未来の都市やインフラに革新的な技術や新しい価値をもたらす各社とも連携していきます。



サステナビリティに関わる各種の法規制が進み、また都市人口が増え続けるなど、今日の都市は多くの複雑な課題に直面しています。都市課題の解決に向けては、より精度の高い都市計画と開発、ならびに住民の QoL（生活の質）を最適なものにするための運営が求められています。一方、都市とそれを支えるインフラは、膨大なセンサーデータが入手可能になっていることからスマート化が加速しています。

ダッソー・システムズと NTT Com の両社は今後、本協業に基づきビルディング、エリア、自治体を中心とする様々なレベルを対象とする複数のプロジェクトを、効率的に連携し実行していきます。コラボレーションのためのプラットフォームとバーチャルツイン・テクノロジーを採用することにより、都市のステークホルダー全体をプロジェクトに巻き込み、包括的な調整が可能となります。今後両社はセンサー情報の管理やエネルギーの効率化シミュレーションなど複数のイニシアチブを行います。さらに将来的には、モビリティ、観光、防災などへも協業プロジェクトの範囲を広げていく考えです。両社は今後、スマートシティ関連での協業デモを、NTT Com が 2021 年 4 月に開設した共創環境「CROSS LAB for Smart City」（以下 CROSS LAB）にて公開することで、様々な企業と共に未来の日本に向けたスマートシティを実現できるよう目指します。

今回の協業は両社のそれぞれの強みに基づくものです。ダッソー・システムズの 3DEXPERIENCE プラットフォームは、都市に関わるステークホルダー（関係者）が領域間の垣根を超えて協業するための統合バーチャル環境を提供します。またこのプラットフォームでは、都市課題を踏まえた様々な想定シナリオと現実世界から得られたデータを組み合わせることでシミュレーションすることができるため、都市の未来をより良くするためのアイデアを、リスクなしでテストし磨き上げていくこともできます。これからの都市開発では、自動車メーカーやモビリティオペレータ、再生エネルギー事業者、建設土木事業者など多岐にわたるプレイヤーが相互に重要な役割を担いますが、ダッソー・システムズはこれらの産業においても実績を持っています。

NTT Com は、同社の強力な通信技術ネットワークと IoT を組み合わせてビッグデータの統合と分析を行う Smart Data Platform for City を開発・提供しています。SDPF は既に企業や自治体に導入され、最適なソリューション構築に活用されています。

ダッソー・システムズのインダストリー、マーケティング&サステナビリティ担当エグゼクティブ・バイス・プレジデントであるフローレンス・ベルゼレンは次のように述べています。「都市・インフラ領域は、経済を構成する戦略的に重要な領域（セクター）であり、モビリティをはじめとする多くの分野においてサステナブルなエクスペリエンスを刷新・考案するためには、新しいアプローチが必要です。NTT Com は情報通信業界の一大プレイヤーであり、また日本における都市開発やスマートシティプロジェクトの実績をお持ちです。両社の強みを持ち寄ることで、日本の都市がバーチャルコラボレーションを通じて様々な課題に取り組みつつ、サステナブルな解決策を見つけられるよう、スケーラブルでダイナミックなスマートシティ・プラットフォームを目指します」

NTT Com スマートワールドビジネス部 スマートシティ推進室 室長代行 加賀 淳也氏は次のように述べています。「NTT Com は都市開発やスマートシティプロジェクトにおける ICT 領域での実績を積み重ね、そのノウハウを活かし、デジタルツインを活用した街づくり実現に向けて取り組みを行っています。災害やエネルギー、交通などのデータをデジタル上でシミュレーションし、リアルな街へと還元することのできるデジタルツインを実現していくために、ダッソー・システムズと共に、実際のスマートシティフィールドで検証を行い、スマートシティにおける新たな価値創出を目指してまいります」

==

詳しくはこちら:

ダッソー・システムズの 3DEXPERIENCE プラットフォーム、3D 設計ソフトウェア、3D デジタル・モックアップ、そしてプロダクト・ライフサイクル・マネジメント (PLM) ソリューション

<https://www.3ds.com/ja>

ダッソー・システムズとつながるソーシャル・アカウント

[Twitter](#) [Facebook](#) [LinkedIn](#) [YouTube](#)

*1: 都市・インフラ領域：ダッソー・システムズが掲げる三つの戦略的注力領域の一つ。他に「ライフサイエンス&ヘルスケア」「製造」がある。

(以上)

NTT コミュニケーションズについて

NTTコミュニケーションズ株式会社は1999年に設立され、通信事業者ならではの高品質なインフラと技術を活かし、ネットワーク、クラウド、コロケーション、アプリケーション、セキュリティなどの多岐にわたるICTサービスを展開しています。事業ビジョン「Re-connect X」にもとづき、生活者・ビジネス・社会を、安心・安全かつ柔軟に「新たな価値でつなぎなおす」ICTサービス・ソリューションを提供し、ニューノーマルの世界におけるサステナブルな未来の実現を目指しています。詳細は<https://www.ntt.com/>をご確認ください。

ダッソー・システムズについて

ダッソー・システムズは3DEXPERIENCEカンパニーとして、人々の進歩を促す役割を担います。当社は持続可能なイノベーションの実現に向けて、企業や人々が利用する3Dのバーチャル コラボレーション環境を提供しています。当社のお客様は、3DEXPERIENCEプラットフォームとアプリケーションを使って現実世界のバーチャルツイン・エクスペリエンスを生み出し、さらなるイノベーション、学び、生産活動を追求しています。ダッソー・システムズ・グループは140カ国以上、あらゆる規模、業種の29万社以上のお客様に価値を提供します。より詳細な情報はホームページ、<https://www.3ds.com/ja>（日本語）、<https://www.3ds.com>（英語）をご参照ください。

3DEXPERIENCE、Compassアイコン、3DSロゴ、CATIA、BIOVIA、GEOVIA、SOLIDWORKS、3DVIA、ENOVIA、NETVIBES、MEDIDATA、CENTRIC PLM、3DEXCITE、SIMULIA、DELMIA およびIFWEは、アメリカ合衆国、またはその他の国における、ダッソー・システムズ（ヴェルサイユ商業登記所に登録番号B 322 306 440 で登録された、フランスにおける欧州会社）またはその子会社の登録商標または商標です。